

本当に知りた身近なこと
岡山市超リアルライフ

おかやま生活

2016.12
https://okayama-life.jp/

発行：岡山市 市民協働局 市民協働企画総務課 移住定住支援室
〒700-8544 岡山市北区大沢1-1-1
TEL 086-803-1335 FAX 086-803-1872
MAIL ijuteju@city.okayama.jp
電話対応時間：月曜日から金曜日 8:30～17:15(祝日・年末年始を除く)
岡山市に移住・定住するための情報サイト
おかやま生活



Asaichi 岡山市リアルライフ 99朝市 66

毎月第1日曜、夜寝のたもと広がる朝市。朝市第一歩で準備される「朝市岡山 夜寝朝市」は、平夜寝から続く大規模朝市。当日は朝の市街から人が集まるほどの人気ぶり。選ばれた朝市内のほか、新鮮野菜など約100品もの特産品が並び、朝市には盛りだくさん。また、手作りパンやカレー、ラーメンなどのテイクアウトもあり、買い物だけでなく、朝市は人前まで楽しめる朝市。夏は女性も増えていきます。

備前岡山 京橋朝市
毎月第1日曜開催



田舎と都会が共存するまち、岡山市へ。
ようこそ。



▲岡山駅前から南に向かう「市役所前」の景色。夏は「うらじゃ祭り」にぎわう。



▲岡山駅前から南で15分も走ればこんな豊かな風景が。

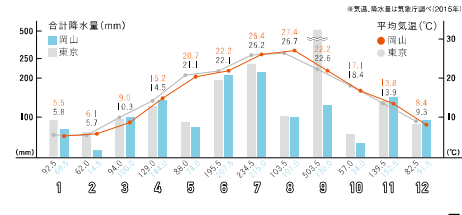
▲岡山大学へ続く道。秋には遊歩道のイチョウの木が黄色に輝く。

岡山市の12ヶ月

OKAYAMA CITY DATA

温暖な気候、豊富な自然資源、災害が少ないこと。その「安心感」こそが岡山の「住みやすさ」です。

降水量1mm未満の日が日本一多いことから「晴れの国」とうたっている岡山。典型的な瀬戸内海式気候のため、日照時間が長く降水量は少なく、年間を通して温暖な気候に恵まれています。また中国山地と四国山地に守られ、台風などの風水害が少ないのも岡山の特長です。この温暖な気候と災害が少ないという点は、農産物だけでなく、岡山の人の気質や生活のさまざまな面に良い影響があり、住みやすさにつながっています。その意味は、岡山上ればばきつかりしています。



Nishigawa 99朝市リアルライフ

●有機生活マーケット いろハレミー
●花・ハーブ・ミニエスタシオ 西川・西川ルミ

EVENTS

おかやま物産まつり
岡山県産の農産物に囲まれた、食後の余韻を味わう朝市。朝市は、朝市から始まる。朝市は、朝市から始まる。朝市は、朝市から始まる。

西大寺会館 (はだかまつり)
日本三大奇祭の一つ、毎年秋から冬にかけて行われる。朝市は、朝市から始まる。朝市は、朝市から始まる。朝市は、朝市から始まる。

幻想楽園 (岡山後楽園)
朝市は、朝市から始まる。朝市は、朝市から始まる。朝市は、朝市から始まる。朝市は、朝市から始まる。

日	イベント	会場
1-3日	若狭津の三味線もちつき(若狭津神社)	上旬
3日	矢立の神事(吉備津神社)	上旬
4日	おきやま朝市(岡山後楽園)	上旬
5日	おきやま朝市(岡山後楽園)	上旬
6日	おきやま朝市(岡山後楽園)	上旬
7日	おきやま朝市(岡山後楽園)	上旬
8日	おきやま朝市(岡山後楽園)	上旬
9日	おきやま朝市(岡山後楽園)	上旬
10日	おきやま朝市(岡山後楽園)	上旬
11日	おきやま朝市(岡山後楽園)	上旬
12日	おきやま朝市(岡山後楽園)	上旬

移住に特化したご挨拶のワンストップサービス
移住にもっとも住みやすくなる。移住にもっとも住みやすくなる。移住にもっとも住みやすくなる。

0120-086-259

「どんな田舎かと思えば、意外と大きなビルも建っている。」
初めて岡山市を訪れた人はよくこう言います。

東京から約670km離れている岡山市。首都圏の人に岡山市について聞いても、これといったイメージはないかもしれません。だからでしょうか、初めて岡山を訪れた人はJR岡山駅前には、JR岡山駅前に広がる街並みを見て、「岡山市に意外と都会です」と言います。確かに最近では、駅に降り立つ出迎風のサラリーマンが押し、駅前には中高層マンションが建ち並ぶようになっています。交通の結節点である岡山市は、JR岡山駅を約1時間、福岡には2時間で行けて、四国も電車で本で渡れる利便性の高さが魅力です。ただ「意外と都会です」と言われると、岡山人は「もうけっこう田舎ですよ」と答えることが多いです。それは、車で15分も走ればすぐに田舎が広がる、田舎の風景「を」に目をやる。実は「この(意外と都会)と、田舎」がコンパクトにまとまっているところが、岡山市の魅力なんです。岡山市に住む」というのを例えて言うなら、首都圏のベッドタウンに住み、職場もあって、生活のすべてがそこで完結できる生活を送れるというイメージでしょうか。通勤時間が短くて済む分、家族との時間や余暇が増え、趣味に没頭する時間も持てる。都会っぽい生活も田舎っぽい生活もできる。多様な生き方が岡山にはあるのです。

「超・おかやま生活」では、岡山市内の4エリアをピックアップし、先輩移住者の声をもとに、そこの生活を垣間見たり、詳しく紹介していきます。岡山市を知らなくても、少しでも歩みを進めたいという方、ぜひ読んでみてください。

おかやま食の食卓
食材の食卓
普段の食卓で使う、いつもの食材。一番気になる食材の話。

野菜 生産者と会って話ができる。産地が近い岡山ならではの「安心感」が魅力です！

岡山は、海に近い南部エリアに広大な平野地が広がります。千両ナスやレモン、レタス、タマネギが豊富に獲れます。また少し北に上ると、「黄ニラ」や「パクチー」の産地があり、ほかに豚やブドウなどの果物や米もあります。野菜のブランド化にも力を注いでいて、PRの一端として開催される地産地消や朝市は、産地が近いので、生産者に会いに行けることができます。野菜に対する安心感が違うでしょうし、愛着もわくはず。それなら岡山には、JAS法が定める「有機農産物」よりもさらに厳格な「おかやま有機農産物」という独自の基準があります。このシールが貼ってある農産物は、「すべての農業・化学肥料の使用を禁止する」というとても厳しい基準をクリアしています。安全・安心への強いこだわりが伝わっています。店頭でぜひチェックしてみてください。

教えてくれる人：野菜ソムリエ コミュニティ岡山代表 横畑直子さん

※本誌に掲載された情報は発行時点の状況に基づき、変更される場合があります。